

○枕崎市立図書館図書閲覧規則

(趣旨)

第1条 この規則は、枕崎市立図書館（以下「図書館」という。）における図書館資料（以下「図書」という。）の閲覧に関し必要な事項を定めるものとする。

(閲覧者の区分)

第2条 閲覧者を次のように区分する。

- (1) 一般閲覧者
- (2) 児童閲覧者

(閲覧時間)

第3条 図書館における閲覧時間は、午前9時30分から午後6時までとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を得て、これを変更することができる。

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、教育長の承認を得て休館日を変更し、又は臨時に休館日を定めることができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）であるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）
- (2) 毎月第4木曜日（その日が休日であるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日）
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日
- (4) 特別整理期間（年間15日以内）

第5条 削除

(利用者の心得)

第6条 図書館の利用者は、次の事項を守らなければならない。

- (1) 図書館の施設、設備又は図書を毀損し、若しくは汚損し、又はこれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 喫煙、飲食等は、閲覧室内でしないこと。
- (3) 館内では静かにし、他人の迷惑になるようなことをしないこと。
- (4) 図書を無断で館外に持ち出さないこと。
- (5) 所定の場所以外に出入りしないこと。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から職員の行う指示又は指導に従うこと。

(館内閲覧)

第7条 閲覧者は、所定の席で閲覧するものとする。

- 2 館長が特に指定した図書を閲覧しようとする者は、閲覧許可申請書(別記第1号様式)により、館長の許可を受けて閲覧しなければならない。

(利用停止)

第8条 図書館の規則又は係員の指示に従わない者に対しては、図書館の利用を停止することができる。

(館外貸出し)

第9条 図書の館外への貸出し(以下「貸出し」という。)を受けることができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 市内に住所又は居所を有する者
 - (2) 市内に通勤している者(県内に住所又は居所を有する者に限る。)
 - (3) 市内の学校に通学している者
 - (4) 市内で活動する団体(代表者が市内に住所又は居所を有する団体に限る。)
 - (5) その他館長が適当と認める者
- 2 貸出しを受けようとする者は、利用者登録願(別記第2号様式)に必要な事項を記載し、前項に規定する資格を証明する身分証明書その他資格を証明するものを提示し、図書館利用者カード(以下「利用者カード」という。)の交付を受けなければならない。
- 3 貸出しを受けようとする者は、利用者カードを提示しなければならない。

(貸出しの数及び期間)

第10条 個人への貸出しは、5冊以内とし、貸出期間は、14日以内とする。

- 2 団体への貸出しは、50冊を標準とし、貸出期間は、1月以内とする。

(利用者カードの失効)

第11条 館長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、利用者カードを失効させることができる。

- (1) 利用者カードの交付を受けた者が、第9条第1項各号のいずれにも該当しなくなつたとき。
- (2) 利用者カードを紛失した旨の届出があつたとき。

(利用者カードの返納)

第12条 利用者カードの交付を受けた者は、貸出しを受ける意思を有しなくなつたとき又は第9条第1項各号のいずれにも該当しなくなつたときは、利用者カードを館長に返納しなければならない。

(利用者カードに関する届出等)

第13条 利用者カードの交付を受けた者は、第9条第2項の利用者登録願（別記第2号様式）の記載事項に変更が生じたとき又は利用者カードを紛失したときは、館長にその旨を届け出るものとする。

2 利用者カードは、他人に譲渡し、又は貸与してはならない。

3 利用者カードを紛失し、又は汚損した者は、利用者カードの再発行（以下「再発行」という。）を受けることができる。

4 前項の規定により再発行を受ける者は、再発行に要する実費を負担しなければならない。

(貸出しの制限)

第14条 館長は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、貸出しを行わないことができる。

(1) 事実を偽って利用者カードの交付を受けた者

(2) 利用者カードを改ざんし、譲渡し、若しくは貸与した者又は利用者カードの譲渡若しくは貸与を受けた者

(3) 図書を亡失し、又は著しく損傷した者

(4) 貸出しを受けた図書を貸出期間内に返納しなかつた者

(転貸の禁止)

第15条 貸出しを受けた図書は、他に転貸してはならない。

(禁帯出の図書)

第16条 特に指定した図書は、貸出しを禁止する。ただし、特別の事情がある者は、館長に館外利用申請書（別記第3号様式）を提出して、貸出しを受けることができる。

(幼児等への貸出し)

第17条 幼児への貸出しは、保護者が同伴の場合にのみ行うものとする。

2 小学生及び中学生への貸出しは、保護者の同意を得て行うものとする。

3 前項の同意は、第9条第2項の利用者登録願（別記第2号様式）に、保護者が記名押印することによって行う。

(督促)

第18条 貸出期間を経過したものに対しては、速やかに返納を督促するものとする。

(弁償)

第19条 図書及びその他の物品を汚損し、破損し、又は亡失した者は、館長の指示に従い、弁償しなければならない。

- 2 前項の弁償は、現品をもつてするものとし、現品をもつて弁償できないときは、館長の指示する代金をもつてしなければならない。

(寄贈及び寄託)

第20条 図書館は、図書として適当と認められるものについて、その所有者の申出により、寄贈又は寄託を受けることができる。

- 2 寄託を受けた図書が、火災その他の不可抗力により滅失し、又は損傷しても、図書館はその損害賠償の責任を負わない。

(寄贈物品の取扱い)

第21条 館長は、図書の寄贈を受けたときは、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を当該図書に明示し、その篤志を伝えるものとする。

(図書の複写)

第22条 館長は、利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するため、著作権法（昭和45年法律第48号）上適法な範囲内で図書の複写を許可することができる。

- 2 次に掲げるものは、複写の求めに応じないものとする。

- (1) 寄託された図書で、寄託の条件として複写を禁止されているもの
- (2) その他館長が適当でないと認めるもの

(資料の利用)

第23条 図書館資料を利用しようとする者は、別に館長が定める手続き等に従わなければならない。

附 則

- 1 この規則は、昭和53年2月1日から施行する。
- 2 枕崎市立図書館規則（昭和30年教育委員会規則第1号）は、廃止する。

附 則（昭和56年3月4日教育委員会規則第2号）

この規則は、昭和56年4月1日から施行する。

附 則（昭和62年4月8日教育委員会規則第1号）

この規則は、昭和62年5月1日から施行する。

附 則（平成8年11月6日教育委員会規則第6号）

この規則は、平成9年1月1日から施行する。

附 則（平成11年2月25日教育委員会規則第1号）

この規則は、平成11年4月1日から施行する。

附 則（平成14年2月28日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成14年4月1日から施行し、同日以後に行われた館外貸出しについて適用する。

附 則（平成15年2月27日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年2月28日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則（平成19年2月27日教育委員会規則第5号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成25年3月18日教育委員会規則第2号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則（平成25年10月4日教育委員会規則第4号）

この規則は、公布の日から施行し、改正後の枕崎市立図書館図書閲覧規則の規定は、平成25年10月1日から適用する。

附 則（平成27年8月5日教育委員会規則第1号）

この規則は、平成27年8月5日から施行する。

附 則（平成30年3月1日教育委員会規則第3号）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（令和3年3月29日教育委員会規則第5号）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（令和4年2月7日教育委員会規則第1号）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。